

令和6年度 南三陸町立入谷小学校 第2回学校運営協議会 議事録

令和6年10月25日（金）
午前10時30分～午後1時
会場：入谷小学校

1 開会

2 開会の挨拶

- 南三陸町教育委員会：教育長 齊藤 明 様
 - ・ 入小の学習はすばらしい。昭和52年から学校で行っている入谷打囃子にも感謝。
- 学校運営協議会会长：会長 阿部 國博 様
 - ・ ひころの里秋まつりへの協力、ありがとう。地域と学校が一体となって今後とも協力をお願いしたい。
- 入谷小学校：校長 色川 洋二
 - ・ ひころの里秋まつりへの協力ありがとうございます。今後ともよろしく。

3 日程の確認

4 学習参観

5 協議

(I) 令和6年度のこれまで及び今後の取組についての報告

- 安心・安全部【松岡】※別紙資料にて説明（~~秘~~情報を含むため、報告後回収）
 - ・毎月15日に行っている「仲良し調査」では、児童本人や友達に対するいじめの有無や、教師に対して相談したいことを調査してきた。毎月、調査をすることで、いじめを初期段階で解決することや、定期的に児童の気持ちを聞く機会となっている。
 - ・特に1年生は担任と話す機会と捉えているのか、「はい」と回答する割合が高くなっているが、全校的にも2か月連続で「はい」と回答する児童はいなかった。
 - ・町の全小中学校で取り組んでいる「行きたくなる学校づくり」のアンケートとして、4項目について年3回調査をしているが、今年の7月に行った調査は、3月に行った結果よりも良かった。
 - ・「G7子どもサミット+1」に向けた取組として、全校で「いじめがない学校づくり」に向けた話し合いを行った。本校では、昼食時にリクエスト曲を流すことや、担任以外とも話し合いをする場所を設定することなどが児童から意見として出され、委員会を中心に対応してきた。効果についても検証していく必要がある。
 - ・3学期の3月11日に計画している「みやぎ鎮魂の日の集い」において、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きする計画である。どなたか引き受けてくださる方を相談したい。10時30分から20分間程度の時間の予定。
- ・当時の卒業生などでもいいのであれば、阿部様や榎様のお嬢様にお願いしては？
 - ・卒業生は大歓迎なので、是非、聞いてみていただければ。

○学校行事部【武山】

- ・資料2～3ページの保護者アンケートの結果について → おおむねよい評価
- ・今後の大きな行事は3学期の卒業式

○学習支援部【武山】

- ・温かい御協力の下、計画に沿って今年度も順調に学習を進められている。
 - ・1年生…例年どおり 生活科で阿部様と「リンゴ」の学習
今後、収穫したリンゴを学年PTA行事としてジャム作りをする予定
 - ・2年生…計画どおり 生活科で西城様と「菊」の学習
来週、アレンジメント体験でまたお世話になる予定
 - ・3年生…計画どおり 総合的な学習の時間で佐藤様と「みそ」の学習
例年より早く天地返しを10月に行った。今後完成楽しみ。
 - ・4年生…計画どおり 総合的な学習の時間で山内様と「蚕」の学習
3学期に、シルクレディース様と繭染・繭細工体験の予定
 - ・5年生…例年どおり 総合的な学習の時間で阿部様と「米作り」の学習
体験を増やし、例年より農家の変化を実感することができている。
この後、脱穀→収穫祭の予定
 - ・6年生…計画どおり 総合的な学習の時間で阿部様と「童子山登山」
2回目は11月1日を予定
- ・選挙もあるが、今週末に登山に向けて、地区民で草刈りをする予定
ボランティア参加大歓迎

○交流活動部【教頭】

- ・計画どおり入谷打囃子学習会を年間10回（来週7回目を実施）
- ・今年はひころの里秋まつり、学芸会で披露した。閉講式は12月5日の予定

(2) 令和7年度に向けて【校長】

- ・別冊 令和7年度案参照し、次年度からは部会を3部会に組織し直すことを提案。
 - ・運動会で入谷小唄、学芸会と入谷打囃子など活動内容に重なりがあるため、学校行事部の内容を交流活動部に入れるように再編した。
 - ・担当も内容に合わせて仮案として今年度の委員を入れてある。検討いただきたい。
- ・提案のとおりでよい。
- ・担当が「安心・安全部」を「安全・安心部」とネーミングを変えたがよいか。
ネーミングのみの変更で、内容は変更なし。
 - ・それも提案のとおりでよい。
-
- ・協議会委員の更新等について、次年度もお願いしたいが、他の学習活動の講師等についても、高齢化が進んでおり、御負担をおかけしている点もあるのではないかと感じている。その点について御意見等をいただきたい。
- ・どこの地区も人材が不足している。若い人は仕事が優先の方が多い。

- ・そもそも子供が少ないため、親が少ない。更に、活動を自由に選べる時代。例大祭もひころの里秋まつりも重なると参加できないと言われるため、授業日にしてもらったので、参加者が多く、今年はありがたかった。
- ・次年度の地区は、小太鼓の人数も足りない。
- ・地域活動の参加に対し、親を越えて孫へ言うのは難しい祖父母もいる。
- ・地域としては、小学校に入谷の行事の日に参加してもらえる体制を望んでいる。
- ・4つの講で回っているけれど、「入谷打囃子を伝承する会」で足りないところは他の子に手伝ってもらう方法もあるかと感じている。志津川や台湾でやりたいという子がいれば一緒にやっていく方法を考えてもいいかも知れない。
- ・大船の子たちは学区として志津川なので、学校でもしていないため、ゼロから行うという問題もある。
- ・入谷小は学校で打囃子をしてくれているので、子供たちが打囃子を行うことが当たり前と認識してくれていることがありがたい。
- ・中学校では、今年度は結局できないことになったのが残念。伝承する会が主体となり、自由にやれるようにしてはどうかという声もある。
- ・「入谷打囃子保存会」で全国青年文化祭に参加し、東京などでも行ってきた。現在小学校で講師をしている山内さんが最後の演者の代。練習は厳しかった。
- ・学芸会で演じたのを参観したが、獅子がいないお囃子だけの時間が長かったので、1周だけでなく、もう少しさせてはどうか。
- ・獅子は、現在在籍5人、当日4人だった。あれ以上は体力的に無理なのが現状。
- ・4年生から6年生だけでは、迫力も足りないため、下の学年から参加できるようになるといいと思う。講では小学生以下の子供たちから小太鼓を叩いている。全校で行うことはできないかとは思っている。
- ・全校で行う場合、必然的に講師も増やす必要があると思う。そうなると学校としては、今、どれぐらいの経費が掛かっているのかは分からぬが、経費や準備などの事情を察すると、いろいろ大変になるのではないかと思うので、全校で行うことは簡単ではないのではないかと感じる。

(3) その他 ※特になし

6 学校給食試食会

7 閉会の挨拶

- 入谷小学校学校運営協議会：副会長 阿部 國博 様
 - ・タブレットを授業で使っている姿を見て、驚いた。今の授業は都会も田舎も同じなのだと感じた。
 - ・人生で初の給食を楽しんだ。
 - ・今後とも子供たちのために協力したい。また、皆様の協力で進めていきたい。

8 閉会